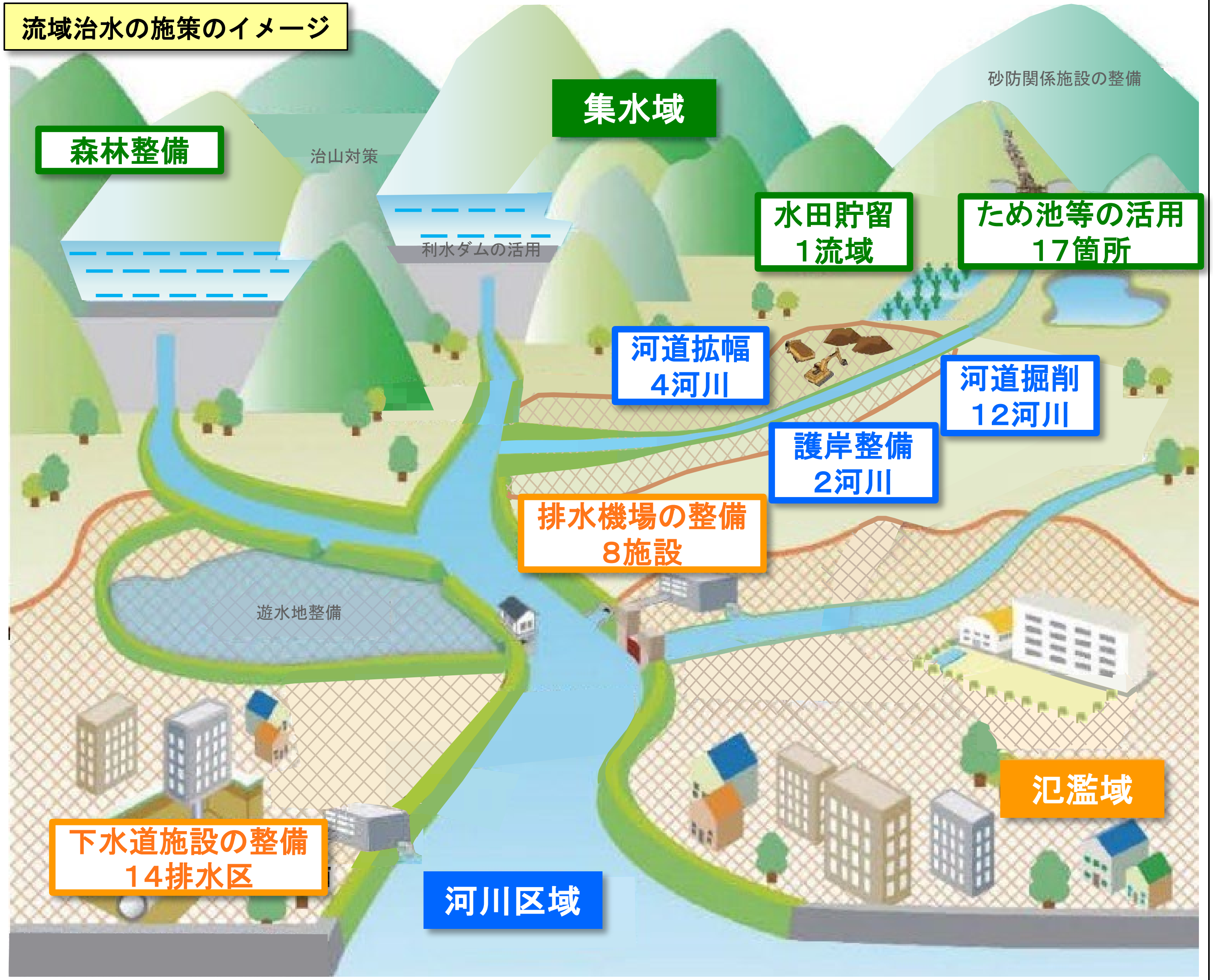
二級水系流域治水プロジェクト
津市における対策内容

二級水系流域治水プロジェクト【実施主体：津市】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

～気候変動を踏まえ、都市部から山間部までが一丸となって取り組む氾濫対策～

流域治水の施策のイメージ



田中川・志登茂川・安濃川・岩田川・相川
上記水系の取組一覧

河川区域

基本的には堤防と堤防にはさまれた区間

- 河道掘削　１２河川
- 護岸整備　２河川
- 河道拡幅　４河川

氾濫域

河川や内水等の氾濫により浸水が想定される範囲

- 排水機場の整備　８施設
- 下水道施設の整備　１４排水区

集水域

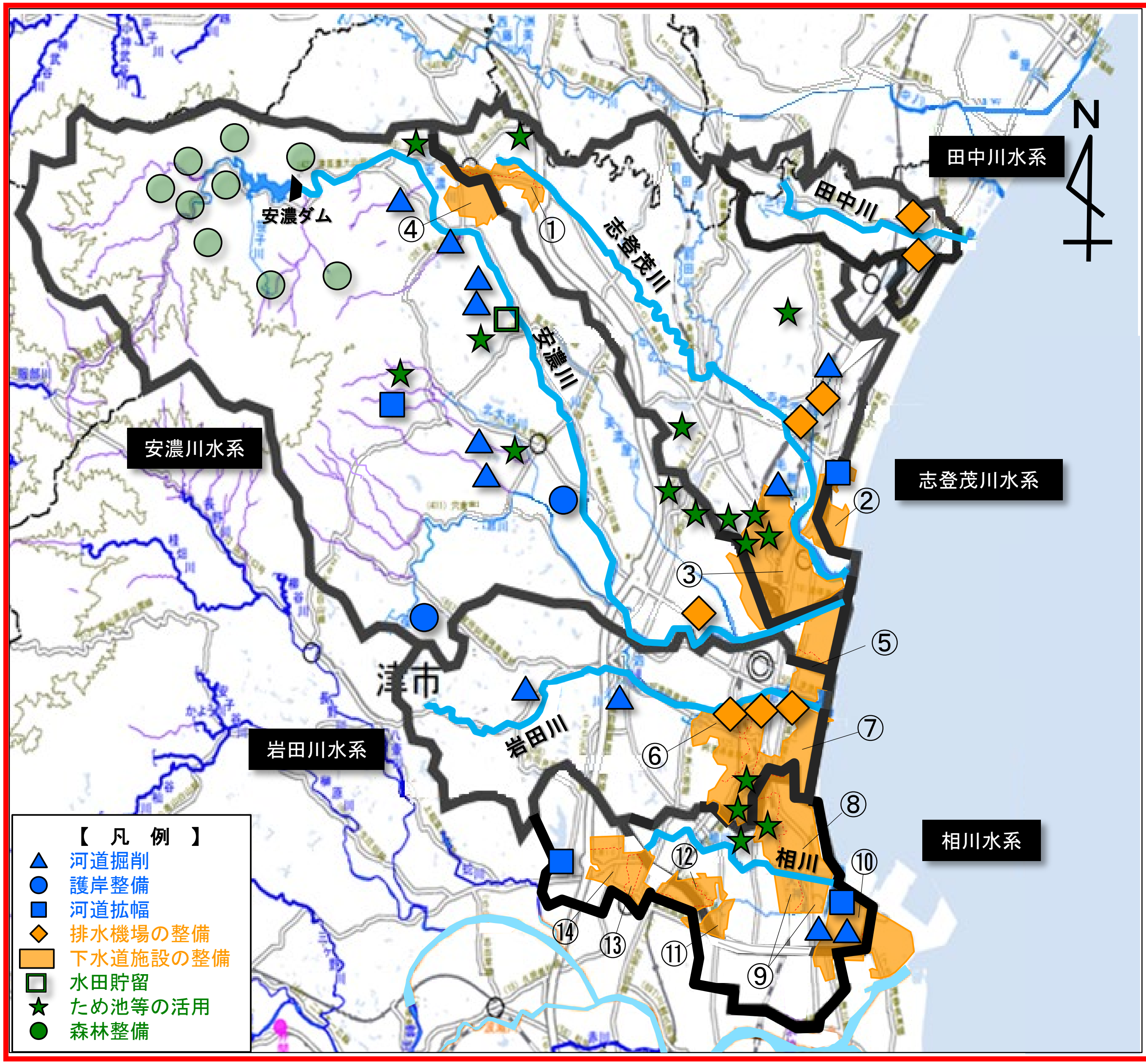
雨水が河川に流入する範囲

- 水田貯留　１流域
- ため池等の活用　１７箇所
- 森林整備

津市における実施メニュー

二級水系流域治水プロジェクト【実施主体：津市】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



各水系での取組

水系	取組	数量
田中川水系	排水機場の整備	2施設
志登茂川水系	河道掘削	2河川
	河道拡幅	1河川
	下水道施設の整備	3排水区
	排水機場の整備	2施設
	ため池等の活用	7箇所
安濃川水系	河道掘削	6河川
	護岸整備	2河川
	河道拡幅	1河川
	下水道施設の整備	2排水区
	※岩田川水系と重複有り	
	排水機場の整備	1施設
	水田貯留	安濃川流域
	森林整備	安濃川上流
	ため池等の活用	6箇所
岩田川水系	河道掘削	2河川
	下水道施設の整備	3排水区
	※安濃川水系と重複有り	
	排水機場の整備	3施設
	ため池等の活用	2箇所
相川水系	河道掘削	2河川
	河道拡幅	2河川
	下水道施設の整備	7排水区
	ため池等の活用	2箇所

下水道施設の整備（排水区域）

水系	No.	排水区域	水系	No.	排水区域
志登茂川	①	志登茂川上流第二	相川	⑧	藤方第二
志登茂川	②	栗真町屋	相川	⑨	天神
志登茂川	③	上浜	相川	⑩	長浜・伊倉津
安濃川	④	安濃川上流左岸第二	相川	⑪	野村第一
安濃川 岩田川	⑤	橋内東部第二	相川	⑫	野村第二
岩田川	⑥	半田川田	相川	⑬	北部第一
岩田川	⑦	阿漕	相川	⑭	射場・明神風早

二級水系流域治水プロジェクト【実施主体：津市】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川区域

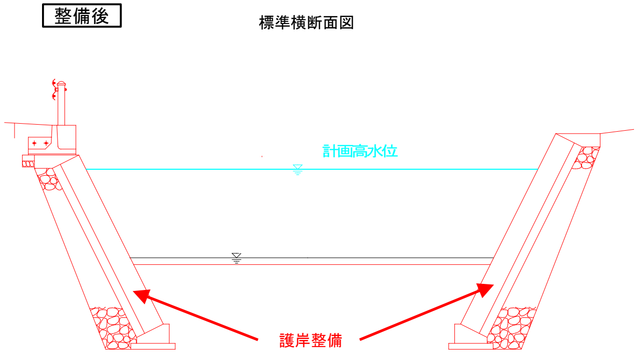
＜河道掘削＞

河川の水位を下げることで、洪水時、増水しても安全に流下させるため、河道掘削を行う。

＜大谷川＞

＜護岸整備＞

老朽化で破損した護岸の被害拡大により、道路や家屋に被害が及ばないよう、護岸整備を行う。



＜浄土寺川＞

＜河道拡幅＞

溢水の原因となっている狭小箇所（ネック点）を解消するため、河道拡幅を行う。

＜朝日新川＞

二級水系流域治水プロジェクト【実施主体：津市】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

氾濫域

＜下水道施設の整備＞

市街地において想定される浸水被害が大きい14の重点対策地区から計画的に整備し、排水区内で発生する浸水被害の解消を図る。

排水区	内容
･志登茂川水系	
①志登茂川上流第二	バイパス水路建設
②栗真町屋	幹線管渠建設
③上浜	幹線管渠建設
･安濃川水系	
④安濃川上流左岸第二	バイパス水路建設
･安濃川水系、岩田川水系	
⑤橋内東部第二	幹線管渠建設
･岩田川水系	
⑥半田川田	ポンプ場建設、幹線管渠建設
⑦阿漕	幹線管渠建設
･相川水系	
⑧藤方第二	貯留管建設
⑨天神	ポンプ場建設、幹線管渠建設
⑩長浜、伊倉津	ポンプ場改良
⑪野村第一	洪水調整池建設、幹線管渠建設
⑫野村第二	幹線管渠建設
⑬北部第一	洪水調整池建設
⑭射場、明神風早	洪水調整池建設

ポンプ場建設

幹線管渠により集約した雨水を、河川や海へ強制排水することで、排水区の浸水被害を解消する。

天神ポンプ場

半田川田ポンプ場

ポンプ場とは
下水道事業により整備された施設。

幹線管渠建設

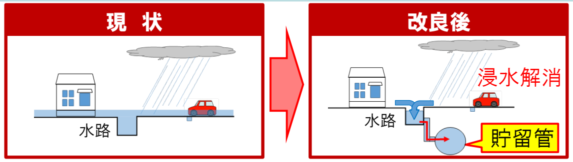
側溝や水路からの雨水を集約し、河川やポンプ場へ流入させるための主要な下水道（雨水）管渠を整備することで、浸水被害を解消する。

町屋第二雨水幹線
□2000×2000mm

半田川田第一雨水幹線
Φ2800mm

貯留管建設

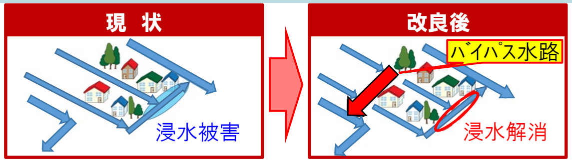
大雨時、水路で流しきれない雨水を一時的に管渠に貯めることで、浸水被害の解消させる。



藤方第二排水区は、ポンプ場完成までの間、幹線管渠を貯留管として利用

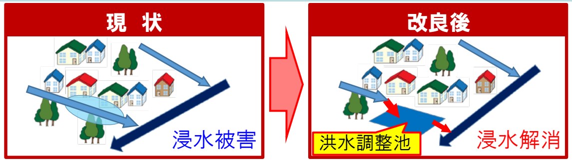
バイパス水路建設

雨水が集中する地域に対して、雨水を余裕のある別水路等へ誘導するためのバイパス水路を整備し、浸水被害を解消させる。



洪水調整池建設

大雨時に雨水を貯める池を造ることで、浸水被害を解消し、下流域の洪水被害を解消させる。



＜排水機場の整備＞

二級水系にある32箇所の排水機場を適正に維持管理し、そのうち8箇所の施設改修を行うことで、湛水・浸水被害から家屋や農地等を守る。

石田排水機場

老朽化したスクリーンを改修

目詰まりが解消され排水機能が回復

＜津市　排水機場　維持管理施設＞
河川用排水機場　27施設
農業用排水機場　　5施設

排水機場とは
河川や農業に伴う事業により整備された施設

二級水系流域治水プロジェクト【実施主体：津市】

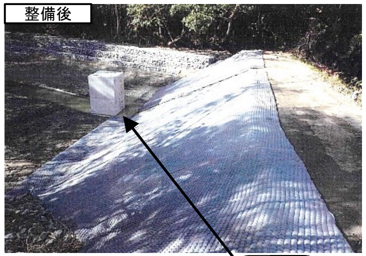
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

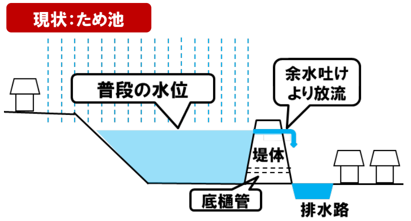
集水域

＜ため池等の活用＞

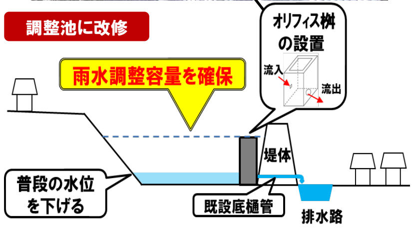
農業用ため池の調整池転用整備

耕作地が減り使用しなくなった農業用ため池を調整池に転用し、平常時から水位を下げ洪水時に雨水を貯めることで、下流域の洪水被害を軽減させる。（１０箇所）





降った雨が調整できずそのまま流れるため、下流での浸水被害発しやすい。



下流への排水量を調整し、浸水被害の軽減

農業用ため池の改修及び治水利用

防災重点農業用ため池の耐震性調査を行い、堤体の耐震化及び施設の改修を実施した。（７箇所）

＜イメージ＞

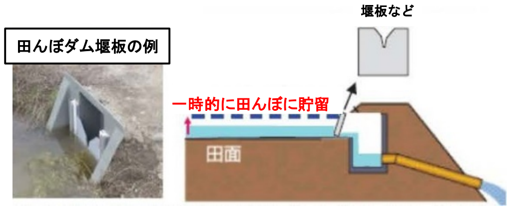
＜イメージ＞

堤体の改修により、貯留能力が向上し維持管理労力が軽減した。

＜水田貯留＞

田んぼダム

洪水時、治水利用のため堰板等で一時的に田んぼに水を貯め、下流域の洪水被害を軽減させる。（安濃川流域）



＜田んぼダムの取組（イメージ）＞

＜水田に雨水を貯留（イメージ）＞

（図出典：流域治水への取組（農林水産省）を編集）

＜森林整備＞

森林整備の推進

渓流沿いの森林においては流域防災機能強化対策事業で、それ以外の森林においては森林経営管理事業で、間伐等の適切な森林整備を行うことにより、森林土壌の保水能力を高め、下流への流出量を減らし洪水被害を軽減させる。（芸濃地域）

樹木が生い茂り地表まで光が入らない

地表まで光が届き植物の発達を促すことで保水力が増す

（写真出典：流域防災機能強化対策事業（三重県））

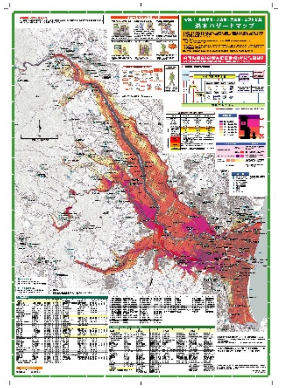
二級水系流域治水プロジェクト【実施主体：津市】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

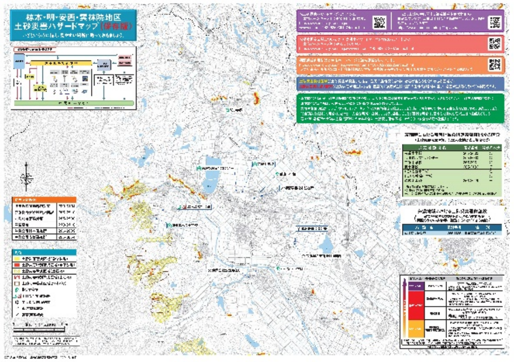
＜水害リスクの空白域の解消＞

ハザードマップの作成

地震防災マップ、洪水・土砂災害ハザードマップ、ため池ハザードマップなどを作成する。



＜洪水ハザードマップ＞



＜津市土砂災害ハザードマップ＞

ハザードマップの周知・活用

ハザードマップ対象地域の住民にマップを配布し、ホームページ上で公表している。
ハザードマップを活用した避難訓練や救助訓練を実施する。

＜洪水を想定した救助訓練＞

＜広報誌等を活用した継続的な情報発信＞

津市防災だよりの発行

津市広報誌「広報津」に、「津市防災だより」として防災情報を掲載し全戸配布やホームページ上で公表している。
地域の避難訓練で防災研修を実施する。

地震防災マップや洪水・
土砂ハザードマップ、
防災意識を高めるタウン
ウォッチングを紹介

＜津市　防災だより＞

＜津市　ホームページ＞